

平成 29 年 8 月 9 日
株式会社日本政策金融公庫

平成 29 年度「アグリフード EXPO 輝く経営大賞」を決定
～地域農業を担う優良経営体を表彰～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）農林水産事業は、このたび、平成 29 年度「アグリフード EXPO 輝く経営大賞」の受賞者を、下記のとおり決定しました（詳細は別紙）。

○「大賞」受賞者

エリア	社名	所在地	業種（規模）
東日本エリア	有限会社 ジェリービーンズ （代表取締役 内山 利之）	千葉県香取郡 多古町	養豚・豚肉加工 （母豚 1,800 頭）
西日本エリア	農事組合法人 秋香園 （理事長 山口 茂徳）	福岡県三潁郡 大木町	きのこ （年間出荷 1,230 トン）

○「優秀賞」受賞者

エリア	社名	所在地	業種（規模）
東日本エリア	有限会社 岩瀬牧場 （代表取締役 岩瀬 剛巳）	北海道砂川市	酪農・乳製品加工 （飼養頭数 200 頭）
西日本エリア	株式会社 小林農産 （代表取締役 小林 光男）	三重県多気郡 明和町	稲作・コメ加工 （200ha）
	株式会社 オキス （代表取締役 岡本 孝志）	鹿児島県鹿屋市	野菜・野菜加工 （100ha）

「アグリフード EXPO 輝く経営大賞」は、日本公庫農林水産事業（旧農林漁業金融公庫）が平成 17 年度に創設しました。本賞は、地域の農業・食品産業の担い手として相応しく、「アグリフード EXPO^{（※）}」への出展をきっかけに、優れた経営を実現している経営体を表彰することにより、多くの経営体の目標となる姿を示し、もって地域の農業及び食品産業の育成に寄与することを目的として選定しています。

（※）国産農産物をテーマとした全国規模の展示商談会で、毎年 8 月に東京、2 月に大阪で開催しています。（<https://www.agri-foodexpo.com/>）

全国の日本公庫各支店から経営大賞候補者の推薦を受け、社外の有識者で構成する選定委員会（会長：大泉一貫 宮城大学名誉教授）における審議の結果、上記のとおり、東日本・西日本エリアで、それぞれ「大賞」「優秀賞」を決定しました。

なお、アグリフードEXPO東京 2017 の開催初日である 8 月 23 日（水）に、同会場内で本賞の表彰式を行います。当日はメディアの皆さまからの取材を受け付けていますので、取材をご希望の方は事前にお問い合わせ先にご連絡ください。

【第 12 回「アグリフードEXPO東京 2017」の開催概要】

日時：8 月 23 日（水）10:00～17:00（10:30 より会場内にて開会式を行います）

8 月 24 日（木）10:00～16:00

会場：東京ビッグサイト 東6ホール（東京都江東区有明）

主催：日本政策金融公庫

※詳細は公式ホームページ(<https://www.agri-foodexpo.com/>)をご覧ください。

※来場を希望される方は、公式ホームページから招待状をご請求のうえ、当日ご持参ください（入場無料、当日登録制）。

○平成 29 年度「アグリフードEXPO輝く経営大賞」の表彰式について

日時：8 月 23 日（水） 15：30～（予定）

場所：東京ビッグサイト東 6 ホール（アグリフードEXPO会場内）

○「アグリフードEXPO輝く経営大賞」選定委員（敬称略）

宮城大学 名誉教授	大泉 一貫（会長）
農業ジャーナリスト	青山 浩子
農業・食品産業技術総合研究機構中央農業研究センター 所長	梅本 雅
学習院女子大学国際文化交流学部 教授	荘林 幹太郎
有限会社フジタファーム 代表取締役	藤田 毅
株式会社結アソシエイト代表取締役	松田 恭子
アグリビジネス・ソリューションズ株式会社 代表取締役、税理士	森 剛一

＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 広報部報道課（担当：横山、中嶋）TEL: 03-3270-1266
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

平成 29 年度「アグリフードＥＸＰＯ輝く経営大賞」受賞者概要

■大賞（東日本エリア）

受賞者	有限会社 ジェリービーンズ（代表取締役 内山利之）
所在地	千葉県香取郡多古町
受賞理由	・ ＥＸＰＯを有効活用して販路拡大し、他事業者との連携による新商品開発など経営発展につなげている。 ・ 養豚部門の生産拡大と並行して味付け肉、シュウマイやハンバーグなど豚肉加工部門を強化。今秋には直営店の３店舗目を開設予定で、食の簡便化志向に対応して弁当や惣菜を充実させるなど商品ラインナップも工夫している。 ・ 耕畜連携による循環型農業への取り組みや、「ちば食育サポート企業」として地元小中学生の農場体験受け入れなど、地域にも貢献している。 
経営概要	・ 飼料や飼育方法を追求した自社ブランド「元気豚」の生産から加工・販売まで手掛け、豚肉生産・加工・販売の部門別管理を徹底して企業の経営を実践。 ・ 直営店舗では「元気豚ジャンボシュウマイ等の詰め放題」を企画するなど消費者との交流を重視。また、ふるさと納税の返礼品にも採用されている。

■大賞（西日本エリア）

受賞者	農事組合法人 秋香園（理事長 山口茂徳）
所在地	福岡県三潁郡大木町
受賞理由	・ きのこの需給が飽和状態にあった九州から関西方面に商圈を拡大するため、ＥＸＰＯを活用。これまでのＥＸＰＯ東京・大阪の計２１回にすべて出展し、量販店に加えて外食や中食業者の取引先を開拓したことで、経営課題となっていた夏場の売上増加を実現。 ・ 地元きのこ生産者と連携して共同販売やきのこの種菌改良などに取り組み、自社経営の改善だけでなく地域農業の活性化にも貢献している。 ・ 使用済みのきのこ培地を堆肥化してアスパラガス農家等に提供するなど循環型農業を実践するとともに、地域のバイオガス発電施設に原料提供してエコ農業に取り組んでいる。 
経営概要	・ ぶなしめじを中心にきくらげ、しいたけなど数種類のきのこを生産。 ・ Ｊ－ＧＡＰを取得して適正な生産工程管理を徹底し、定期的に外部専門家を交えて品質管理点検を行うことで品質の維持・向上を図っている。 ・ 台湾、香港、シンガポールに輸出するとともに、台湾ではしめじ生産の技術指導も行う。

■優秀賞（東日本エリア）

受賞者	有限会社 岩瀬牧場（代表取締役 岩瀬剛巳）
所在地	北海道砂川市
受賞理由	・ ソフトクリーム製造などに早くから取り組んでおり、直営レストランの運営など経営を多角化。 ・ E X P O をきっかけに首都圏に販路拡大したほか、バイヤーとの情報交換がヒントになって新商品も開発。 ・ 放牧酪農を実践して地域の遊休農地の解消にも貢献している。
経営概要	・ 放牧酪農とアイスなどの乳製品の加工、直営レストランを運営。 ・ アイスグランプリで金賞の受賞歴もあるなど品質を追求した商品を展開し、消費者から好評となっている。



■優秀賞（西日本エリア）

受賞者	株式会社 小林農産（代表取締役 小林光男）
所在地	三重県多気郡明和町
受賞理由	・ 後継者就農を機に経営面積を5年間で4倍（50→200ha）に拡大し、近隣農家からの集荷も増加して大きく成長。 ・ 最新技術GPS機能搭載のトラクターや田植機を駆使し、徹底して作業効率化を図っている。 ・ その結果、価格競争力のあるコメの販売を実現し、E X P O を活用して大きく販路を広げている。
経営概要	・ 200haの経営面積で主食用米を中心に加工用米やジャガイモを生産し、コメは百貨店やスーパー等に販売。 ・ 醤油餅や玄米菓子の生産販売など、6次産業化にも取り組む。



■優秀賞（西日本エリア）

受賞者	株式会社 オキス（代表取締役 岡本孝志）
所在地	鹿児島県鹿屋市
受賞理由	・ ゴボウ茶、レンコンパウダーなど乾燥野菜を中心に次々と新商品を開発し、E X P O で販売先を開拓。 ・ 自社生産した大麦若葉を独自技術により乾燥調製した商材は青汁原料等として取引先から高評価を得ている。 ・ 大学のアスリート支援と地元食材PRのための「鹿屋アスリート食堂」の運営協力や、輸出などチャレンジを続けている。
経営概要	・ キャベツ、ゴボウ、大麦若葉など100haで野菜生産し、加工販売も行う。 ・ アンテナショップ、レストランの運営、ネット通販、輸出など経営を多角化。障がい者支援活動など地域にも貢献。

